

同報無線を利用した

緊急情報の伝達訓練



地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（Jアラート）から送られてくる国からの緊急情報を、確実に皆さんへお伝えするため、情報伝達訓練を行います。

3月14日（水）
11時ごろ

当市以外の地域でも、全国的に情報伝達訓練が実施されます。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時に伝えるシステムです。

気象状況により、中止することがあります。

☎ 055-948-1482
市役所危機管理課

大仁東幼稚園

閉園記念開放日

☎ 大仁東幼稚園
☎ 0558-79-0072

3月末の閉園を記念して、最後に幼稚園を1日開放します。

とき／3月24日（土）9：00～15：00
（うち集団遊びは10：00～11：00）

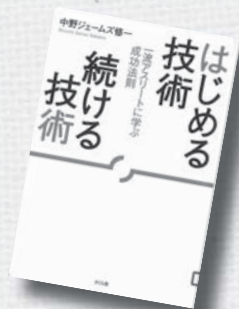
内容／開園から閉園まで52年分の卒園写真の展示、大人から子どもまで楽しめる集団遊び

※駐車場は、隣接する茅野っ子ひろばをご利用ください。

図書館だより

今月のおすすめ ～春から始める～

春になったら何か新しいことを始めたいと思いませんか。図書館には、ヒントになる本があるかもしれません。



『はじめる技術続ける技術』
中野ジェームズ修一（著）
スポーツ、仕事、勉強などに使える「やり遂げる力」を手に入れる方法。多くのアスリートを成功に導いた名トレーナーのテクニックを公開。
【葦山】



『50歳からの人生がもっと楽しくなる仕事カタログ』片桐実央（著）
50代60代の人はどうな事業を立ち上げているのか。「できること」「やりたいこと」の2つの入り口から、起業支援のプログラムが実例を交えて紹介。
【中央】

■読み聞かせで、どんな本を読めばいい？

幼稚園、小学校で読み聞かせをする保護者の皆さん、絵本選びに悩んだら、絵本のガイドブックや、図書館で作成した「読み聞かせおすすめ絵本リスト」も参考にしてください。詳しくはお気軽に職員にお尋ねください。



図書館カレンダー
モバイル版QRコード

■3月のおはなし会 ※いずれも土曜日

中央図書館
10日11：00～

葦山図書館
10日、24日14：00～

あやめ会館
17日9：00～11：00
※この間、いつでも自由にお越しください。

- 『60歳からはじめるSNS』岡本ゆかり（ほか著）【中央】
- 『鳥さんぽをはじめよう』鳥くん（著）【中央】
- 『お父さんのための日本一やさしい料理本』青木敦子（著）【中央】
- 『今日から手帳は英語で書こうよ！』石原真弓（著）【葦山】
- 『はじめての木彫りどうぶつ手習い帖』はしもとみお（著）【葦山】
- 『ゼロからはじめる！脱サラ農業の教科書』田中康晃（著）【葦山】

3月の 休館日	中央図書館	5日（月）、12日（月）、19日（月）、21日（水・祝）、26日（月）、30日（金）
	葦山図書館	7日（水）、14日（水）、21日（水・祝）、22日（木）、28日（水）、30日（金）

開館時間（共通）9：00～17：30 ☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/>

文化財通信

その153

史跡紹介 市指定史跡「天野遠景の墓」

☎ 市役所文化財課
☎ 055-948-1428

天野地区の南端、東昌寺から南に300mほど行った「薬師の段」と呼ばれる段丘から、天野地区を見守るように静かに墓石が並んでいます。平安時代末期から鎌倉時代にかけて、源頼朝に仕え活躍した武将、天野遠景とその一族の墓です。

遠景は伊豆国天野庄（現在の天野）を拠点とする工藤景光（天野藤内景光）の息子として生まれました。永暦元年（1160）、蛭ヶ小島に流されてきた頼朝と交流を深め、旗揚げの際はこれに付き従いました。遠景は頼朝の弟、範頼に似て西日本の平氏と合戦を重ねます。

寿永4年（1185）の壇ノ浦の戦いにおいて平氏を打ち破った後は、鎮西奉行（西日本の軍事行動の責任者）に任じられ、中国地方から九州、喜界島（現在の鹿児島県大島郡）の平定と、次々に反抗勢力を討ち果たしていきます。

こうした遠景の活躍は『吾妻鏡』のような記録や、『保元物語』などの軍記物語に華々しく記されており、後世の人々からも人気を博していきます。また、江戸時代になると源平の争乱を題材にした武者絵や読み物が成立し、より広く民衆に遠景の名が浸透していきました。

また、『吾妻鏡』の記述によると、遠景は、承元元年（1207）に二代目執権北条



天野遠景とその一族の墓
（左から嫡男政景、遠景、弟光家）

義時に対して、頼朝旗挙げ（山木攻め）以来の自身の活躍を11カ条にまとめ提出しており、恩賞を求めています。これは老年となった遠景が、子孫に財産を残すためにとつた行動ともいわれています。

この後、遠景は鎮西奉行を辞し、剃髪して蓮景を名乗り、貞応元年（1222）に亡くなるまで地元天野で余生を送ったとされています。位牌は東昌寺に納められています。

武略に長け、情にも厚かった天野遠景。そんな遠景の墓は、市指定史跡として今でも地元の人たちにより大切に守られています。

今後は、機会があればこのような市内の史跡を紹介していきたいと考えています。

市指定史跡「天野遠景の墓」
所在地：伊豆の国市天野字上天野516
（狩野川リバーサイドパークから徒歩5分）